

# 広報あさひ

## 今月のおもな記事

- 昭和53年度  
町長施政方針…………… (2)
- 国勢調査の概要…………… (3)
- 第2回朝日町議会  
定例会…………… (4)(5)
- 昭和53年度  
予算の概要…………… (8)(9)
- 人事異動…………… (11)

昭和53年4月10日発行 発行所 朝日町役場 ☎(07658) 3-1100 (〒939-07) 昭和32年8月8日第3種郵便物認可 定価25円 印刷 高田印刷



## 民家をたずねて

宮崎

板屋根に石をのせた、切妻造りの家が立ち並び、

裏山から竹の樋で引いた水がどんどん流れ出る共同作業場。

ひだら作りのアネサマたちのカン高い声がかさねる中で、

タラが手さばきも鮮やかに処理されてゆく。

生きのよいタラを籠に入れ、天秤棒でがらいで威勢よく村を出てゆく女たち。

海から戻ったジイサマたちのタミ吉が、町へタラ売りに行く女たちを景気つける。

浜にはヨシズガ並べられ、タラが模様のように並べ乾される。

こんな風景が、かつての宮崎のシンボルであった。

遠い昔の話も、その風物詩も共に静かに語ってくれる家が、

わずか数軒の家が今も、この宮崎に残っている。

昭和53年度  
施政方針

### 新年度予算は

### 財政の能率的な運営と

### 公共事業の積極的推進を

# 生活の向上 景気の回復 社会資本の充実

## 四つの基本的施策を引き続き推進

今日における異例な国の経済、財政の環境は地方自治の運営にも大きな影響を及ぼし地方自治はかつて経験したことのない試練の中に立たされており、あらためて責任の重大さと深刻さを痛感させられております。

新年度予算案は、国・県の財政計画の観点に配慮しつつ、独自の経済的自然的な諸条件をふまえて、生活の向上、景気の回復、社会資本の充実を期すため、公共事業の全面的受入れをはかりました。このため予算規模は昨年比三十一割強の伸びとなっております。

一方これに要する財源として、町税の増収を大きく見込むことはできません。したがってこのための財源として起債並びに資金借入れを大幅に増額するとともに、特別交付税を当初予算として計上しました。この際、臨時異例の措置としてやむを得ない措置かと存じます。経常的経費については極力増加を抑制し職員数についても、病院、消防署など特殊な部門についてのみ増員をみることにしています。

しかし一般財源の確保についてはおのずから限界があり、このため機会をとらえて交付税率の引き上げ、地方税の見直しなど、地方財源の充実強化、補助体系の改正などの抜本的対策を国・県に対して働きかけてまいります。

つきに予算編成の基本的な課題であります四つの柱について、その概要を申しのべます。

### 生活環境の整備

人口構造の老齢化、疾病構造の変化などにより、社会的経済的に弱い立場にある人々に対する福祉施策の重要性が高まりつつあるとき、個人個人の健康と福祉を確保し向上させる環境と諸条件を継続的に確立することが肝要であります。

このような観点から、生涯を通じた健康づくりの基盤の整備と啓蒙普及を強く推進し、すべての町民が健康で長生きできる諸条件をつくりだすことを第一義に、幼児から老人にいたるまで、あたたかい手をさしのべる施策の拡充をはかります。

また、美しい住みよい生活環境を作るため、安定した水資源確保のための施策と、増加しつつある生活廃棄物などを適確に処理することについて一層の充実をはかってまいります。

さらに、日常生活圏の拡大と高速化社会に対処するには道路の整備が町の重要な責務であります。都市計画街路事業、スーパー農道、境バイパス等、幹線道路の早期完成、また笹川トンネルの改良、小川橋歩道橋の架設、県道未改良区間の改良、舗装促進、交通安全施設の充実、加えて北陸自動車道の早期完成等の重要な事業には、関係方面の協力を得て強力に推進いたします。

また、永年の懸案であります町道の路線認定替えを行ない、主要道路の改良、舗装事業を大幅に進める所存であります。

### 教育条件の整備

学校教育につきましては、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛する人間を育成することは教育の目的であり、激動する社会情勢に対応しながら、創造力に富む豊かな人間性を育てることが最も肝要であると考えます。このための教育環境を一時もゆるがせにできません。

学校統合につきましては、第二次学校教育整備審議会の答申は極めて妥当な線との前提にたち、その実現を期するための調査研究について配意したいと存じます。

また、社会教育につきましては、生涯教育の中核となる公民館活動の重要性を痛感し、その充実発展を図るとともに、地域住民との新しい連帯をつくり学習への参加を促進するため、社会教育団体の地域活動事業を実施いたします。また、不動堂遺跡の保存対策として、史跡公園としての整備に取り組んでまいります。

「町民ひとりスポーツ」の目標をふまえ、体育、スポーツの定着化、生活化をはかるため、指導援助体制の充実、社会体育施設の整備とその活用、スポーツクラブの育成強化を重点施策として、町民の要求が十分反映するよう進める所存であります。

### 産業基盤の整備

長期にわたる厳しい不況から脱し得ない経済情勢の中で、産業の振興

に与える悪影響は益々増大し、さまざまなゆがみが現われています。こうした中で、新年度は、米の需給均衡化対策の一環として実施される水田利用再編対策は、水稲単作地帯として意に即しない施策とはいえず総合的な食糧需給率の向上をはかることを基本としており、食糧法を確保するという農民的立場からも他の振興施策と関連させつつ農家の理解と協力を得て推進したいと存じます。

また、農業の生産基盤であるほ場整備事業は、新年度でおおむね完了することになります。このため農村生活環境整備については、今後農村総合整備モデル事業の充実に向けた一歩の努力をいたしたいと考えております。

林業につきましては、林道事業をすすめ、林業経営活動範囲の拡大と近代化、また観光開発との一体的な整備をはかり、さらに今年度をスタートとし四力年の継続で第二次林業構造改善事業に着手します。

水産業につきましては、漁港の拡充整備と沿岸漁業構造改善事業等を促進します。

中小企業につきましては、不況下における中小商工業経営の改善、融資制度の拡充と造成計画最終年度を迎える鉄工業団地の育成をはかり、商工一体的な街づくりをすすめます。

観光につきましては、海、野、山を通じ、本町特有の自然景観を生かしつつ、県立自然公園の整備と昨年から実施してまいりました「あさひ国民休養地」の整備を促進します。

# 郷土の保全

町民の生命と財産を水、火災等、あらゆる災害からまもることは最も重要なことであり、これについて一層の対策が期待されているところであります。

消防につきましては、逐年機能の充実強化につとめてきたところでありますが、基幹施設たる消防庁舎の建設をはじめ、近代的な消防機能、救急業務の整備を図ってまいりたいと存じます。

また、交通安全の対策につきましても安全思想の普及徹底、安全施設の整備等、交通安全体制の確立を図り、安全で平和な生活の維持につとめたいと考えます。

さらに、海岸保全につきましては侵食防止をはかるとともに汀線を前進させるための離岸堤の築造拡充についても、関係当局に強く要請してまいりたいと存じます。

つぎに、昭和四十六年から今日まで継続的に基礎調査が進められておりました朝日小川ダムが、新年度から一部着工の段階に入りますが、治水の点で極めて期待するところであるのみならず利水につきましても今後重大な関心をよせてまいる所存であります。

(この施政方針は、昭和五十三年第一回定例町議会において町長が、所信の一端として発表されたものを要約したものです)

## 昭和50年国調結果(3)

### —— 通勤・通学編 ——

朝日町における国勢調査の通勤・通学者人口の結果をお知らせします。

これは常住地から通勤・通学地へ行く人の日々の移動状況、雇間人口などの実態を明らかにしたものです。

朝日町の常住人口は一九、〇八三人で、今度の結果によると、通勤・通学者の流入人口は八八九人(内、通勤者六五七人、通学者三三二人)、流出人口は二、八一五人(内、通勤者一、三六三人、通学者四五二人)で、九二六人の超過流出となっています。

昭和四十五年国調は常住人口一九、三一一人、流入人口七〇九人、流出人口二、五一一人で、八〇三人の超過流出で、雇間人口は一七、五〇九人でした。

常住人口で二二八八人(一・二割)の減少ですが、雇間人口では三五二二人(二・一割)で、全体的に雇間人口の減少する傾向にあり、町外からの通勤・通学者よりも町外への通勤・通学者が増えてきています。

#### 流入・流出人口

本町は、おおむねすべての市町に對し、流出人口が流入人口を上回っており、特に富山市と黒部市に對しては、一、二九九人の流出に對して流入はわずか八八八人にすぎません。

その差一、二一一人は、本町の流出超過人口、一、九二六人の六二・九割を占めています。

図3. 産業別流入人口(15才以上)

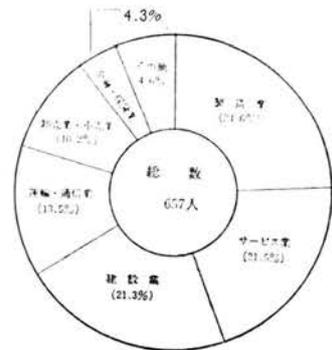


図1. 朝日町への流入人口

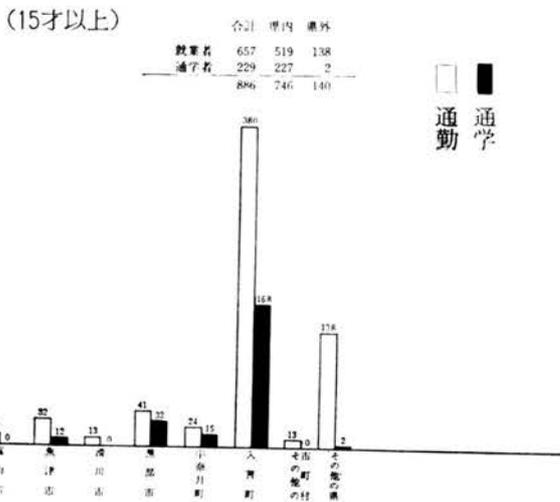


図4. 産業別流出口(15才以上)

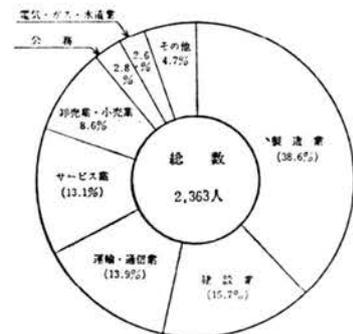
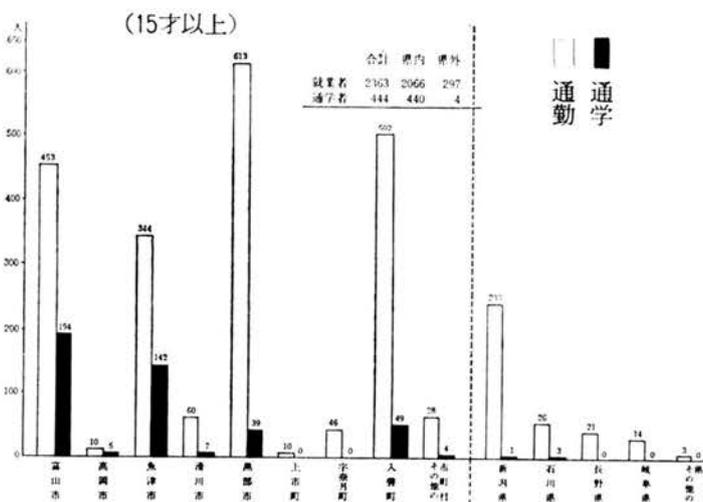


図2. 朝日町からの流出口



# 昭和53年度予算など 25議案を可決

## 一般会計予算額は二十九億七千万円

### あらまし

昭和五十三年第二回朝日町議会定例会は、三月九日から十八日まで会期を十日間として開会されました。  
本定例会では、昭和五十三年度朝日町一般会計予算をはじめ、条例の制定、一部改正など二十五議案についてそれぞれ審議され可決されました。  
また、議員提出議案一件についても可決しました。このほか、請願、陳情十件については、採択六件、継続審査四件の決定がなされました。

## 審議日程

## 可決されたもの

3月9日 開会(会期決定・町長提

案理由説明)

3月10日 本会議(議案説明)

3月11日 本会議(議案説明)

3月12日 休会

3月13日 本会議(質疑・一般質問)

3月14日 本会議(一般質問)

3月15日 文教厚生委員会

3月16日 文教厚生委員会

3月17日 総務委員会

3月18日 本会議(委員長報告・質

疑・討論・表決)

## 昭和53年度予算

### 一般会計

・朝日町一般会計予算(二十九億七千万円)

### 特別会計

・朝日町国民健康保険特別会計予算(五億四千一七三万七千円)

・朝日町国民健康保険診療施設特別会計予算(笹川診療所一千一四三万六千円/宮崎診療所五七七万七千円/境診療所一千五八七万一千円)

・朝日町簡易水道特別会計予算(一

千二四八万四千円)

・朝日町南保外二地区用水特別会計予算(二八九万六千円)

・朝日町加藤奨学資金特別会計予算(二二万七千円)

### 企業会計

・朝日町立泊病院事業会計予算(一億九千九二五万六千円)

## 昭和52年度補正予算

・朝日町一般会計補正予算/第五号(補正額一千三二九万一千円)

・朝日町国民健康保険特別会計補正予算(補正額二千一七一万九千円)

・朝日町簡易水道特別会計補正予算(補正額、減額一百万円)

## 条例

### 一部改正のもの

・朝日町特別会計に関する条例

・朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例

・朝日町消防団条例

・朝日町職員定数条例

・朝日町税条例

・朝日町営霊きゅう車使用に関する条例

・朝日町簡易水道条例

### 制定したもの

・朝日町農村公園設置条例

## その他

・新規土地改良事業計画を定める件

・昭和53年度青年学級開設の件

・寄付採納の件

・朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

## 議員提出議案

・核兵器完全禁止に関する意見書

## 請願・陳情

### 採択になったもの

▽清水町と西町間道路の町道認定について

▽社会福祉施設の増設拡充について

▽防犯灯の設置について

▽御亭の復元と簡易水道敷設工事の施行について

▽滝川及び金剛川の防災工事並びに観光施設工事の施行について

▽小更地内農道の改良と町道への格上げについて

### 継続審査になったもの

▽療術の制度化阻止及び違法行為の取締り強化について

▽療術の制度化促進に関する協力量について

▽し尿汲取の適正料金について

▽松涛町内道路の改良工事の施行について

## 常任委員長報告

## 総務委員会

付託案件については、原案どおり可決と決定し、審査の過程において

①基幹集落センター及び老人福祉センターの浴場利用については、浴場業者との関係を十分考慮すべきであること。②老人福祉電話の基本料金公費負担制度については、不均衝が生じないよう検討を要する。③消防庁舎建設の工期については十分配慮されたいことなど要望があった。

## 文教厚生委員会

付託案件については、原案どおり可決と決定し、審査の過程において

①体育福祉センターの運営管理費について検討されたいこと。②健康管理活動並びに公害対策については、より一層の効果をあげられるよう要望する。③老人福祉センターの建設については、その目的と立地条件等を充分検討されるよう要望する。④全般的な学校の諸問題については、積極的にとりくまれたいこと。

## 産業建設委員会

審査過程において、工事施行後の

道路の修繕と復旧は早急に行なわれたいこと、また都市計画街路事業についてはなお積極的に取りくんではほしい。

また付託案件については、原案どおり可決と決定した。

### 一般質問の中から

#### 工事請負について

質問 昭和三十三年度予算で、老人福祉センター、消防庁舎の大型請負があるが、町の業者または共同企業体で施行させる考えはないか。

答弁 町で出来ないものは別として建築工事などについては最大限、町で消化したいと考えている。

#### 登記所の統合について

質問 富山地方務局朝日出張所(登記所)の統合について通告してきているが、これについてどのような考えを持っているか。

答弁 朝日出張所(登記所)の統合はまことに困ることであり、一方的な通告に従うわけにはいかない。

#### 延長保育について

質問 延長保育の実施についてどのように考えているか。

答弁 延長保育を実施すれば喜んでいただけるが、限度があり更に実情等を調査のうえ検討したい。

#### 水田利用再編

##### 対策について

質問 水田利用再編対策の町単独奨励金は一律に交付できないか。

答弁 県の対策、他市町村の動向をみて柔軟に対応していきたい。

### 健康管理

#### 活動について

質問 健康管理活動を実施するに際し、住民への啓蒙をどのように考えているか。

答弁 大変難しい問題であるが、食生活の改善、住民検診率の向上、心身両面できちんと組みたいと考えている。

### 農道舗装

#### 計画について

質問 農道の本舗装実施計画について聞きたい。

答弁 農村総合整備モデル事業、非補助事業の融資制度を受け入れ、生活関連の道路など幹線のものを逐次舗装したい。

### 水田の

#### 乾田化について

質問 水田利用再編に際し、乾田化に国県が助成しているが町の対策はどうか。

答弁 国県以外の補助並びに奨励金等については、柔軟に対応していきたい。

### 公共事業用地の

#### 確保について

質問 公共事業を推進するための用地の確保についてどのように考えているか。

答弁 用地について苦慮いたしているが、速やかに対応できるように、開

発公社等の適切な利用についても考慮していきたい。

### 急傾斜地崩壊対策

#### 事業について

質問 急傾斜地崩壊対策事業の計画をどのように考えているか。

答弁 急傾斜地崩壊対策事業は、国県の補助を受けて実施したいと考えている。

### 棚田開発について

質問 第二次林業構造改善事業と相まって棚田開発をどのように考えているか。

答弁 棚田開発は、次期山村振興事業の中で実現させたい。林道を生かす地域の期待にこたえることは私の努力目標としている。

### 蛭谷紙の

#### 保存育成について

質問 蛭谷紙製造は絶滅に近い状態であるが育成について考えていないか。

答弁 貴重なものであり、関係者と協議して検討したい。

### 町政の具体的

#### 構想について

質問 町政の具体的構想を提出できないか。

答弁 大方針についての考え方をいま検討している段階であり、また具体的な手順を経て原案として出した

### 老人福祉センターの

#### 寄付について

質問 老人福祉センターに関し、かなり多額の寄付と聞いているが強制寄付にならないか。

答弁 老人福祉センターの寄付については、当事者に十分その旨を伝え、関係地区にも強制しないことを確認している。

### 学校統合について

質問 小学校の統合について三校案が示されたが、中学校より小学校の統合が早いと理解してよいか。

答弁 同意と協力が得られれば中学校の方から先行させていただき、その中で小学校へ及ぼしていくのが前進的であり方と考えている。

## 国民年金

### 国民年金に

#### 加入しませんか

#### (年金おくさまだより)

国民年金は、農業や商業などの自営業の満二十才以上満六十才未満の方々を加入対象にしていますが(強制加入)被用者年金制度(厚生年金・共済年金・船員保険等)に加入している方の配偶者(つれあい)や六十才までにまだ間のある方は希望すれば加入できることになっています。

とくに配偶者(つれあい)の立場は、あくまでも被保険者(被保険者であった方を含む)を中心に考えているため一応はその制度の中で保障されているものの、十分ではありません。

たとえば、厚生年金では、ご主人の老齢年金額を計算するとき奥さんの分として(配偶者加算)年額七万二千元をプラスしますが、支給は、あくまでご主人に対して行われます。

このようにご主人の年金に頼るだけでは、不安ではないでしょうか。

また長い人生には不幸な出来事もあり奥さんの立場がたいへん弱いこともあって、ご主人の年金に頼ることができない場合が起こることもあります。

奥さんご自身が国民年金に加入することにより、老後はもとより病気やケガなどの不測の事故による保障も受けられます。いざというときのため、そして老後のためにあなたもぜひ国民年金に加入し、より確実に自分の将来の生活設計を立てられたいかがですか?

朝日町国民年金係の五十三年度事業の重点として奥さんなど(任意加入資格者)の加入を呼びかけていくことになっています。わからないことがありましたら年金係にお尋ねください、もし町内の会合などおきに説明を聞きたいとの申し出があれば説明にうかがいますのでご利用ください。

なお詳細については役場国民年金係(電話三一〇〇内線二十九)へお問い合わせください。

# —国道8号線平柳交差点— 横断地下歩道完成



△写真は横断歩道入口▽

<写真は横断歩道内部>

国道八号線と県道朝日・宇奈月線が交差する平柳地内で、建設省が工事を進めていた横断地下歩道がこのほど完成しました。

この交差点は交通量が多く、交通事故の多発地帯であったため、地域住民の強い要望もあり、朝日町初の地下歩道として完成、地域住民や利用者から喜ばれています。工費は約三千万円で長さ三十四㍎、幅三㍎で中央帯は自転車が行かれるようになっていきます。

## 第25回 連青定期大会開く

朝日町連合青年団は、三月二十六日福祉センターにおいて、第二十五回定期大会を開催し、五十二年度の活動の総括と、新年度の役員選出及び活動方針、事業計画を決定しました。

### 活動方針

本年度は、「心と心のふれあい」を基礎として、ただ事業を実施するだけでなく、「ホッネ」をさらけだすことのできる「深いきずな」を育てる中から組織の強化をはかることとし次の五つの活動目標を設定し行動することを確認しました。

- 一、実践学習の中から組織強化をはかる。
- 一、みつめよう朝日町、創造しよう青年の手で。
- 一、若者の和をみつめ直そう。
- 一、原点に帰った情宣活動を実行し

よう。

一、豊かな女性となるための学習をおしすすめよう。

### 役員

- 団 長 舟見 勇(泊)
- 副団長 高木友一(五箇庄)
- 副団長 佐渡 茂(五箇庄)
- 副団長 堂用順子(大家庄)
- 事務局長 由井 勝(大家庄)
- 事務局次長 中山秋芳(南保)
- 常任理事 大沢清彦(五箇庄)
- 常任理事 高島道子(五箇庄)
- 常任理事 長井勝路(笹川)
- 常任理事 畠山敏晴(泊)
- 常任理事 芦田明美(泊)
- 常任理事 大矩勝也(山崎)
- 常任理事 加納輝行(大家庄)
- 常任理事 殿村誠司(南保)
- 監 事 永口明弘(山崎)
- 監 事 水島清三(境)

## 山林火災に

### ご注意を

ハイキングや山菜取りの季節となり入山する機会も多くなることと思いますが、過去の山火事の例をみますと入山者のちょっとした不注意が原因となっています。

次の事項を守って林野火災の予防に努めましょう。

◇たき火の跡始末を完全にすること。

◇たばこの吸殻は必ず消すこと。

◇マッチ、ライターの使用は乾燥時には努めてさけること。

◇紙くす等燃えやすいごみ類は所定の場所に捨てること。

◇火入れの許可を消防署で必ず受けること。

また田圃等で火を使用する場合は事前に消防署の方へ届出なければならぬことになっておりますので、無届で行わないようにして下さい。

なお夜間及び風の強い日、空気が乾燥しているときの火の使用は禁止されています。

## こいのぼり三カ条

一、鯉のぼりは電線から十分離れたところにたてましょう。

一、金属製ポールは感電しやすいので気をつけましょう。

一、風のためにポールが倒れたり、かたむいたりして電線にふれないようしっかり固定しましょう。

(北陸電力㈱泊営業所)

## 遠洋漁業 出漁祈願祭

朝日町出漁組合の出漁航海安全大漁祈願祭が、三月二十八日、泊脇子八幡宮で挙行されました。

当町においては、東草野、赤川地区に遠洋出漁者が多く、今は航海を終えて年に一度の楽しい春祭りに帰郷しており、まっ黒に日焼けした元気な顔で次の出漁の航海安全と大漁を祈願しました。



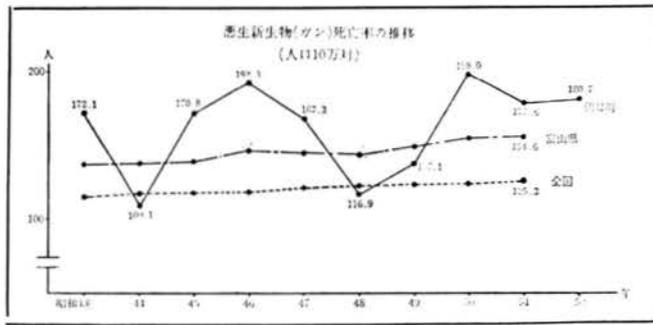
# 成人病にご注意

## 衛生統計シリーズ ③

### ◆ 四人に一人がガンで死亡 ◆

成人病の中でも最も恐れられているガンによる死亡率は、全国的に、わずかつながら年々高くなっており、死因別順位でも、全国では昭和二十八年以来、富山県は昭和二十七年以来脳卒中に次いで二位を占めています。朝日町でも、昭和五十二年には、ついに脳卒中に次いで二位になりました。

総死亡者数一四五名中三五名、つまり四・二人弱に一人がガンで死亡していることになりました。



### 部位別ガン死亡者数

年次	総者死亡数		ガン死亡数		食道ガン		胃ガン		肝臓ガン		その他のガン	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和51年	94	87	21	14	0	0	5	6	2	1	7	4
昭和52年	74	71	19	16	0	0	6	6	4	1	4	4

年次	膵臓ガン		肺ガン		乳ガン		子宮ガン		白血病		その他のガン	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和51年	1	1	5	1	—	1	—	0	1	0	7	4
昭和52年	0	0	5	1	—	1	—	3	0	0	4	4

「ガンだったらどうしよう。」と恐れる前に、一年に一度は必ず検診を受けてほしいものです。

町では、富山県成人病予防協会の協力を得て、毎年、胃の集団検診を実施していますが、朝日町はガン死亡者が多い割りに受診率は県内でも低位です。

全国的にみても、富山県東部は特に胃ガンの多い地帯という統計が出ています。しかし、胃ガンや肺ガンは集団検診でかなり発見することができます。

ガン死亡を部位別にみると、胃ガンが最も多く、次いで肺ガン、肝臓ガンの順になっています。

診療場で  
国民健康  
循環器  
検診を  
実施します。

### ◇ 診断内容

町では成人病対策として、毎年、結核住民検診の午後の部の会場で、希望者を対象に循環器検診を実施してきましたが、受診率はわずか二〇%前後と低率です。

しかし、その数少ない受診者の中でも、何らかの異常のある人が、毎年約四〇%もあり、これらのことを総合すると、朝日町には自分では気がつかない、いわゆる潜在成人病患者がたくさんいることが想定されます。

そこで、町では、「治療よりも予防」の基本的な考えに立ちながらも、「まず成人病患者の早期発見、早期治療」を主眼に、昭和五十三年度から、結核住民検診全会場（五月と九月）で総合的な循環器検診を実施することになりました。

◇対象者は、結核住民検診受診者のうち六四歳までの方全員です。六五歳以上の方は、別に老人検診で健康診断を行いますので、レントゲン撮影だけを受けてください。

医師の診察  
血圧測定  
尿検査 Ⅱ 酸性、アルカリ性、糖蛋白、血尿  
血液検査 Ⅱ コレステロール、肝機能、貧血  
体位測定 Ⅱ 身長、体重  
生活状況調査・問診票を事前に記入して下さい。

みなさんの健康状態を調べるための大事な資料となるものです。事前に配布しますので、書きつらいこともあるかと思いますが、内容は絶対に秘密にしますので、もれなく記入されて当日提出してください。

◇受診者全員に「健康手帳」を交付します。手帳には検診の結果と指導事項が記入してあります。自分の健康の歴史がわかるように十年間使用することになっていきますので、きちんと保管されて、毎年の検診時には必ず提出して下さい。

◇きめられた会場でしか受診することができません。

検診日程は後日お知らせしますが、ことしから、結核住民検診（レントゲン撮影）、循環器検診とも、昨年までのように、きめられた会場で受けることができなくなるといって、他の好きな会場で受けることはできません。未受診の方は、別に定める日と会場でしか受けることはできません。

大蔵多恵子（泊）、黒坂智恵（平柳）  
金井亮子（赤川）、青木清一（泊）  
山口邦雄（下山新）、坂東由紀夫（横尾）  
島端秀雄（横尾）、小塚保男（泊）  
水島春雄（泊）  
大平万寿美（宮崎）、根建よし子（横尾）、追分豊和（草野）、竹田桃江（月山）  
中山香代子（蛭谷）、水野武則（月山）  
川合純次（蛭谷）、橘由紀（沼保）、瀬戸博文（南保）、山岸尊（道下）、荒尾和彦（大屋）、下立弘司（細野）、佐渡祐一（赤川）、新田譲（大家庄）、加納恵一（横水）  
堀田貞次（大家庄）、高島晴彦（高橋）

愛の献血  
協力者芳名 一2月実施分

今日の献血が  
明日のあなたを  
保障する

◇若い人も必ず受診しましょう！  
成人病の要因は決して突発的なものではありません。若いうちからのいろいろな積み重ねが成人病に結びついていくと言っても過言ではありません。まだ若いから「自分は大丈夫」と考えないで、若い人も必ず年に一度の検診を受けて、健康の点検を行なってください。

◇生活状況調査・問診票を事前に記入して下さい。

◇きめられた会場でしか受診することができません。

◇生活状況調査・問診票を事前に記入して下さい。

水田利用再編対策事業	544万円
畜産振興	656
農地整備事業	3,778
農道舗装等整備事業	9,313
農村総合整備事業	12,277
林業構造改善事業	3,228
造林事業	3,868
林道開設事業	60,798
基幹集落センターの運営	869
沿岸漁業構造改善事業	48
漁港建設事業	1,500

◎商工業の繁栄と観光開発のために 7,066万円

商工振興と小規模事業対策	422万円
中小企業経営安定のための利子補給	74
鉄工業団地造成事業の利子補給	111
小口事業資金あつせん融資資金等預託	3,550
上の山台地管理棟建設事業	652
県立自然公園の整備	991
観光施設の設備	100
観光パンフレットの発行	50

◎失業対策事業 3,152万円

**郷土の保全**

防災体制の確立のために 21,985万円

◎消防基地と消火活動の近代化のために 20,484万円

消防タンク自動車購入	1,100万円
小型ポンプ自動車購入	82
移動車無線機購入	42
消防庁舎の建設	13,009

◎町土保全のために 1,501万円

河川の改修	248万円
かけ地等危険住宅移転事業	604
治山事業	213
農業用施設災害復旧事業	61
林道災害復旧事業	374

▶一般行政費	36,857万円
▶広域行政費	8,565万円
▶公債費	14,623万円
▶予備費	4,865万円
合計	297,312万円

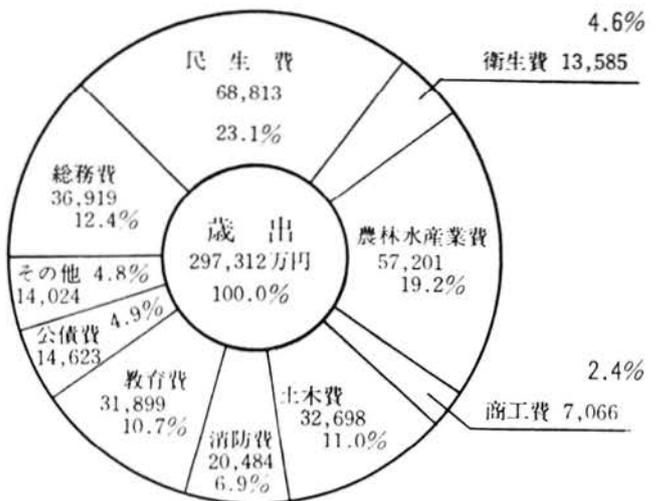
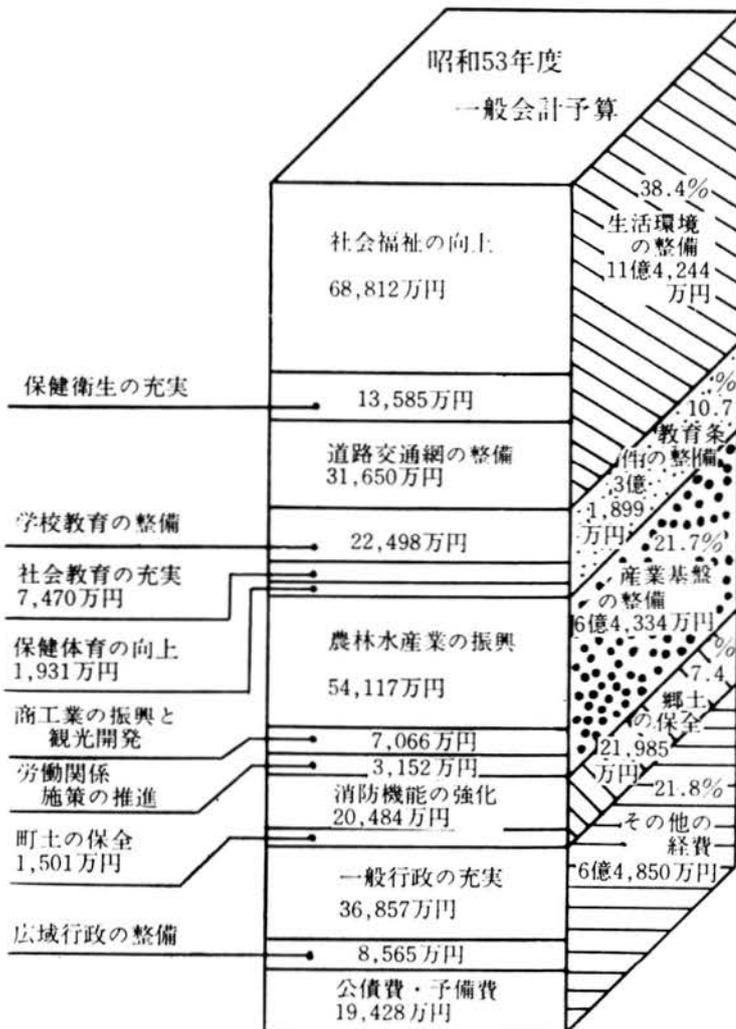
**特別会計 5億9,033万円**

1. 国民健康保険特別会計	54,174万円
2. 笹川診療所特別会計	1,144万円
3. 宮崎診療所特別会計	578万円
4. 境診療所特別会計	1,587万円
5. 簡易水道特別会計	1,248万円
6. 南保外二地区用水特別会計	289万円
7. 加藤奨学金特別会計	13万円

**企業会計**

◎泊病院事業会計 11億9,926万円

予算規模は、前年度対比2.9%の伸びになります。  
病院事業については、公的医療機関としての強化を期するため、高度な医療機械を導入し、医療水準の向上をはかるとともに、健全な、企業経営に努めます。



# 昭和53年度 公共施設の整備と 豊かな町づくりを重点に 総額 47億7千万円

昭和53年度 朝日町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて47億6,271万円となり、朝日町総合計画に基づいて、四つの基本施策を最重点にして、予算を編成しました。

## 一般会計 29億7,312万円

### ▷ 歳入 ◁

**町 税** 53,367万円  
(全体の19.7%)

町税については、52年度収入実績を見込み、国の経済動向、税改正等を推計し5億3,367万円を計上しました。

**地方交付税** 88,500万円  
(全体の29.8%)

地方交付税については、国税三税と財政需要の動向、伸び等を考慮して、前年度実績額の13.7%の伸び8億8,500万円を計上しました。

そのなかに公共事業等に充当のため例年実績をふまえ特別交付税1億円を算入しました。

**国・県支出金** 69,763万円  
(全体の23.4%)

分担金、負担金については、各種建設事業の応益負担として全体の6.5%に当る1億9,195万円。

保育料については、適正を期するため国の徴収基準の決定により算定しますが、一応前年度対比10%の引上げを見込んで8,800万円としました。

使用料及び手数料については、すえ置きとし、1億1,522万円としました。

国、県補助金は、6億9,763万円で全体の23.4%をしめています。その主なものとしては次のとおりです。

- 老人福祉センター建設事業 2,880万円
- 老人医療費給付金 10,451
- 保育所運営費 12,213
- 農業構造改善事業 2,716
- 農村総合整備事業 8,520
- 林業構造改善事業 2,343
- 林道事業 3,326
- 道路特別改良事業 4,500
- 都市計画街路事業 6,000
- 学校プール建設事業 700
- 不動堂遺跡整備事業 3,719

**町 債** 41,150万円  
(全体の13.8%)

町債については、公共施設の整備充実と国の施策、景気回復策に合わせ、大幅に見込み、全体の13.8%に当る4億1,150万円としました。その主なものとしては次のとおりです。

- 老人福祉センター建設事業 9,370万円
- 広域農道整備事業 2,300
- 農村総合整備事業 1,630
- 漁港改修事業 1,140
- 道路整備事業 9,890
- 都市計画街路事業 2,400
- 消防庁舎建設事業 8,950
- 学校プール建設事業 1,200
- 不動堂遺跡整備事業 920

## ▷ 歳出 ◁

### 朝日町の未来に向かって

#### 生活環境の整備

美しい町づくりに

114,244万円

- ◎ 町民福祉増進のために 68,812万円
  - 心身障害者医療費 1,081万円
  - 母子医療費 48
  - 老人いこいの家設置 400
  - 老人医療費 13,636
  - 老人福祉センターの建設 14,755
  - ちびっこ広場の設置 100
  - 乳児等医療費 570
  - 保育所休憩室の設置 255
  - 保育所の増改築 1,387

- ◎ 健康の増進と環境衛生の向上のために 13,585万円
  - 保健センター用地整備 400万円
  - 循環器検診、住民検診、予防接種 1,446
  - 衛生害虫の駆除 191
  - 地下水源調査事業 450
  - 簡易水道事業への助成 595
  - 病院事業への出資 2,406
  - ごみ処理用地の整備 798

- ◎ 道路の整備のために 31,650万円
  - 都市計画街路事業 9,152万円
  - 道路特別改良事業 6,751
  - 町道の改良と舗装 10,655
  - 交通安全施設の整備 385
  - 北陸自動車道建設の促進 65

- ◎ 住宅管理対策 197万円

#### 教育条件の整備

創造性に富む豊かな人

づくりに 31,899万円

- ◎ 学校教育の向上と環境整備のために 22,498万円
  - 常勤講師の導入 487万円
  - 学校施設の改修 607
  - 教材備品の整備 1,050
  - 学校建設の調査 17
  - 学校プールの建設 2,521

- ◎ 社会教育の充実発展のために 7,470万円
  - 社会教育団体の幹部指導者研修 46万円
  - 公民館活動 452
  - 家庭教育学級などの開設 183
  - 青少年など地域活動費 100
  - 不動堂遺跡整備事業 4,958

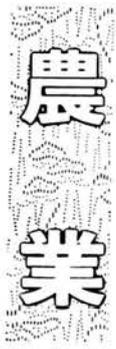
- ◎ 町民の体力づくりのために 1,931万円
  - 町民体育大会などの開催 201万円
  - 学校体育施設の開放 178
  - 社会体育施設の運営 1,336

#### 産業基盤の整備

活気あふれる豊かな町

づくりに 64,334万円

- ◎ 農林水産業の振興のために 54,117万円
  - 農業構造改善事業 2,990万円



### 転作について

水田利用再編対策(転作)の実施に伴ない、さまざまな対応策が講じられていますが、主な留意点は次のとおりです。

### ※種子対策※

特定作物(大豆、麦、飼料作物、そば)の種子は農協で手配されており、ほぼ供給の見通しがついています。

特定作物の種子は、農協を通じて購入された場合に限り、種子代の半額を町から助成いたします。

### ※ほ場の条件整備※

ほ場排水の良否は、転作物の収量を左右する重要な要因となります。県では、ほ場の条件整備を図るため、農地高度化事業を実施し、排水樹の増設や暗きょ排水の補完を行うことにより、農地の乾田化を進めようと考えております。

本事業の事業主体は、土地改良区生産組合、数人共同で行なう者等となっており、事業費は申請一件当たり20万円以上、助成としては、県から40%の補助がなされ、町も若干の補助を検討しています。

この事業は、集落計画(集団)で転作がなされる集落についてのみに対象となり、その集落内のほ場整備田で実施されることになっていきます。

### ※実施計画書の提出※

集落で調整された転作目標面積に基づき、四月上旬に町から配布しました農家戸別の転作等実施計画書(転作を行なおうとする水田ごとの地番、面積、作物名等を記入)を提出していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

### 農業振興地域 整備計画

農用区域からの  
除外申請は  
6月10日まで

農業振興地域整備計画は、農業地域を明確にして農地を保全し、合理的な土地利用を図ることを目的とした計画です。

農用地区域内にある農地を転用する場合は、農用地区域から除外申請をしなければなりません。ほ場整備が実施された農用地や、集団的にまとまっている農用地などは農用地区域から除外できません。

これら以外の農地での除外申請の期限は、昭和五十三年度は六月十日となりましたので、除外申請を希望される方は、産業課農政係まで事前

に申し出てください。

なお、計画変更の認可は、申請がなされてからおおむね三カ月かかり農地転用もそれ以前にはできませんのでご注意ください。

### 優良生産者

#### 長野生産組合

石井さん 窪田

沢田さん 金山

#### 米づくり

富山県米作改良選賞式が、去る三月二十八日県庁で行なわれ、朝日町からは、昭和五十二年度において米作改良に精励された次の方々を受賞されました。

- ◆富山県米作改良対策本部長賞
- ◆団体の部
  - 米作改良優良生産団体 長野生産組合(近藤勇雄)
- ◆個人の部
  - 米づくり優良生産者 石井 弘(窪田)

作付面積二五五アール  
産米出荷状況二三九俵  
米作改良推進優良指導者  
沢田 淳吾(金山)



### 〈今月の表紙〉

北アルプスの峻険が日本海に突き出た突端に戸数二百戸余の漁村集落宮崎がある。

集落は旧北陸街道に面して間口三間ぐらゐの切妻型妻入りの特徴ある姿でたち並んでいる。そして表通りの家並何軒かおきに口ジまたチヨと呼ばれる小路が通じており、このロジの両側にも切妻の家が所狭しと立て込んで建っていて、ここは平入りの建物が多い。

二十年ほど前までは板葺の石置屋根だったが今は一戸もない。村は明治元年の大火で、百八十六戸のうち焼け残ったのは十戸、明治十三年(十戸焼失)同十七年(八十戸)同三十年(九十戸)同三十九年(十五戸)と大火がつづき古い家は焼失してしまった。そんななかで扇谷大輔氏宅が古い姿のまま残っている。

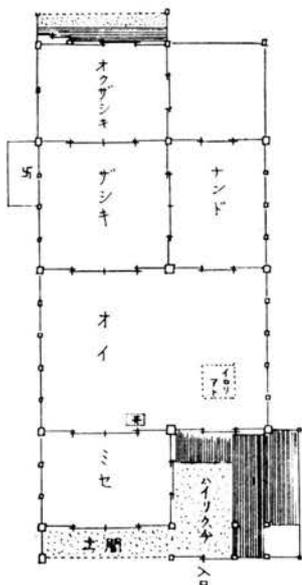
所、便所等多少改修はされたが富山県東部海岸および新潟県西部海岸地帯の漁家の様式をそのまま残している。

母屋は間口三間半、奥行六間半だったのを大正時代に奥座敷を増築し八間半になっている。オイ(居間)に特徴があり棟方向に家の規模にしては大きすぎる約45cm×35cmの梁が三本渡された梁間いっばいの巾三間半、奥行二間半の十七畳半の大きな部屋である。関所より移築前はこの部屋は十畳と七畳半の別々の部屋であった事が大黒柱にあるカモイの柄穴によって知ることが出来る。

天井はこの三本の大梁の上に四本の上梁が渡され簀子天井になっている。大黒柱は梁の割には太くなく、そのかわり建物両側の桁行には四寸角の間柱が三尺間隔に立てられがちりしている。

関所などの部分の建物かは不明だが江戸時代の関所の建物の原型を生かして宮崎の漁家風に移築した貴重な民家といえよう。

### 宮崎扇谷大輔宅





# 郷土の伝説 西 東

(25)

## 天香寺の 釣鐘

天香寺 柳田

今から約三百年も前のことであろうが、大家庄柳田の天香寺に一つの釣鐘があった。

その釣鐘は蛇の化身であると伝えられ、夜になると蛇の姿に変わり、近くを流れる「飯合」の川に入っていくと言われていた。

それから長い間近年まで、この鐘をつくこと「エーゴウ、エーゴウ」という音に聞こえ川を恋しがるということである。

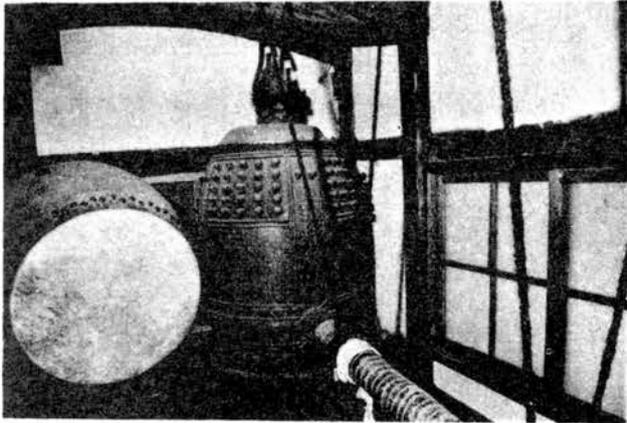
この蛇の化身と伝えられた釣鐘も戦時中に供出にあい昭和二十年六月、終戦を目前にして足尾銅山で錆漬され、兵器に変身したと聞く。

この釣鐘に後日談がある。昭和二十一年に、新しく釣鐘が造られることになった。ようやく製造され入善から新屋を経て同寺へ運ぶ途中、どつしたことが新屋地内でトラックが小さい川に

落ち、積んでいた釣鐘が川の底へ沈んでしまった。急を聞いてかけた門徒たちは、人海戦術で引上げ作業に従事。暗くなるころようやく引上げ寺へ運んだという。

それにしても、三百年前の鐘も新しく造られた鐘も、よくよく川と縁が深いことである。

(写真は現在の釣鐘)



## 寄付・寄贈

△泊中学校へ▽

▽泊中学校後援会(会長・寺田利太郎氏)より、輪転機一台、アルトサククス一本。

▽泊中学校昭和五十二年卒業生(代表・田中栄一君)より天幕一張。

▽氷見みさ氏(神田町)、平坂かずる氏(平柳二区)より、陳列ケース一基、国旗大二枚、中二枚。

△小川中学校へ▽

▽小川中学校後援会(会長・長津清平氏)より、給食配膳台五台、アイレマシン二台、回転椅子七脚、裁断器一台、スピーカー一台、教職員用図書二巻。

▽小川中学校同窓会(会長・藤田敏一氏)より、少年少女文庫全四十八巻、世界の民話全二十五巻、本棚一基。

▽小川中学校昭和五十二年卒業生(代表・鍛冶正弘君)より校歌入り掛け額一式。

## 善意の預託

### 朝日町善意銀行

社会福祉のためにと、次のかたがたから善意の預託がありました。

▽とく名 拾得物報労金一万円

▽沼保・本田千代乃さんより古切手

五〇〇枚

## おめでたと おくやみ

(昭和五十三年三月十五日現在)

### おすこやかに

(赤ちゃん誕生)

境	水島	信明	長女	亜紀
宮崎	扇谷	勇	二女	晶子
宮崎	扇谷	誠	長女	由美
東草野	水島	忠雄	長女	聖
西町	梅沢	威	長男	直敬
中道下	赤川	宗一	長男	一樹
平柳二	平坂	長博	長男	長人
高島	清水	英信	長男	寿英
谷	岩井	康正	長男	智和
越	安達	忠	長男	忠行
越	安達	忠	二男	慶男
下山新	西島	隆雄	長女	宏美

### おしあわせに

(結婚)

○宮崎	杉本	孝信
東草野	上沢	ひとみ
○辻岩崎	赤川	幸夫
入善町	上田	房子

### おくやみ

(死亡)

○境	渡辺	強(39)
○中町	草野	和夫(50)
○東草野	寺田	やよ(72)

- 椋町 大島清次(77)
- 高島 大森孝四(40)
- 高島 長谷勇幸(47)
- 石谷 吉田いと(81)
- 舟川新 沢田つな(73)

### 〈表題シリーズ〉

#### 【民家をたずねて】の

#### シリーズについて

四月号からは、「民家をたずねて」として、現在朝日町に残る、特色ある民家や町並を紹介することにしました。

最近、新聞その他で、由緒ある民家が紹介されていますが、朝日町においても近年、藩政時代、あるいは明治期に建造された民家が急激に消滅しつつあります。

古い民家には、遠い祖先からの歴史が秘められ、今日なお息づいていることを考えるとき……。

既に遅きに失した感がありますが、せめて残存する特色のある民家を民俗文化財的観点から調査紹介し古きものに新しい目を向けていただくことも意義あることかと思えます。

民家は個人の財産であり、プライベートな点も多くあり掲載することについて何かと不都合もあるかと存じますが、特段のご協力をいただきたくお願いいたします。

(広報編集委員会)

# おしらせ

4月 (卯月)  
7日 世界保健デー  
8日 花まつり  
10日 婦人週間  
17日 少年保護日  
18日 発明の日  
20日 郵政記念日  
29日 天皇誕生日

△今月の税金▽  
固定資産税 (第一期分)  
軽自動車税の納期は今年から五月になります。

## 藤 加 奨学資金 奨学生 募集 集中

朝日町では加藤奨学資金の奨学生を次のとおり募集しています。希望者は教育委員会までお申し込みください。

- ◇奨学生の要件  
町内居住者の子弟で四年制以上の大学の在学する健康で成績優秀な学生
- ◇奨学金  
九)へお問い合わせください。
- ◇申込先  
朝日町教育委員会 (〒939-07朝日町沼保八一〇の五)
- ◇申込期日  
四月一日から五月十日まで
- ◇申込手続  
奨学生願書、奨学生推せん調書 (申込書は教育委員会にありませぬ)
- なお、詳細については朝日町教育委員会 (電話三一一〇〇内線四十九)へお問い合わせください。

### 相談ごとご案内

#### △行政相談

日時 毎月第1火曜日  
午前10時～午後3時  
場所 朝日町福祉センター  
相談員 川上嘉一 (電話3-0050)

#### △人権法律相談

日時 4月18日 (火)  
午後1時～午後4時  
場所 朝日町福祉センター  
相談員 人権擁護委員  
上田憲二 (電話2-0127)  
在田祐芳 (電話2-2164)  
小沢 浩 (電話3-3000)

#### △心配ごと相談

日時 毎週火曜日  
午前10時～午後3時  
場所 朝日町福祉センター  
(電話3-0576)

#### △交通事故巡回相談

①日時 第1,第3月曜日  
午前10時～午後3時  
場所 黒部市役所  
②日時 第1,第3水曜日  
午前10時～午後3時  
場所 県魚津総合庁舎内  
魚津地方県民相談室

### 富山県青年の船

一般 (11月)  
農業 (10~11月)  
団員募集

区分	一般部門	農業部門
▽訪問国	インドネシア	アメリカ
▽時期	11月2日～11月15日	10月27日～11月17日
▽資格	県内に1年以上居住する20才以上の男女	県内に1年以上居住する20才以上の男子
▽申込日	4月10日～5月9日	4月10日～5月9日
▽申込先	朝日町教育委員会	農林委員会事務局
	(電話3-1100内線50)	

なお、詳細については教育委員会事務局へお問い合わせください。

### 町営住宅

#### 入居申し込み

桜町地内の町営住宅の昭和五十三年度の入居順位を決定するため、入居を希望される方は、四月二十日(日)午後二時(火)まで、役場建設課まで申し込んで下さい。

なお、入居順位は、公開抽選により決定し、昭和五十三年四月一日より、昭和五十四年三月三十一日まで期間に住宅が、空家となった都度入居順位により、逐次、入居を許可します。

なお、詳細については役場建設課 (電話三一一〇〇内線三十八)へお問い合わせください。

### 危険物取扱者試験

昭和五十三年危険物取扱者試験については次の要領で実施されますのでお知らせします。

- ▽試験の実施種別
  - ・乙種危険物取扱者
  - ・丙種危険物取扱者
- ▽試験の実施日  
昭和五十三年六月中旬頃予定
- ▽受験願書の受付  
昭和五十三年五月中旬頃予定

詳細については朝日町消防署 (電話三〇〇九)へお問い合わせ下さい。

### 新着図書案内

朝日町立中央図書館  
戒厳令 (岩波新書) 大江志乃夫  
やさしいドイツ語 小塩 節

- 隆元のはだか交友録 細川 隆元
- 日本写真年鑑 78 日本写真新聞社
- 5分間なわとび健康法 榎本 繁男
- オフィスの日曜日 山田 智彦
- ピラミッドパワーを発見した マックス・トス
- 日本陶磁全集 薩摩 中央公論社
- 原色現代日本の美術 陶芸 小学館
- 埋もれた古代帝国 大村 幸弘
- 父さんは空気 小野沢 実
- 捕虜 大谷敬二郎
- 南無の世界 花岡 大学
- 心を打った男たち 日本経済新聞社
- 信濃の四季 田中 清光
- 大江戸二百六十年 川崎房五郎
- 二十歳の世代伝えたい P H P 研究所
- 名 竿 小田 淳
- 凍土地帯 勝野 金政
- ある再婚 森 泰三
- 結婚関係 笹沢 左保
- 銀の川、赤い燈台 水上 勉
- 灼熱の水平線 田中 光二
- ふおん、しいばるとのむすめ 上下
- 風の遺産 吉村 昭
- 殺 氣 新田 次郎
- おせん 池波正太郎
- 時雨の記 池波正太郎
- 死にたがる子 中里 恒子
- いのちの絶唱 藤原 審爾
- 炎の家 高岡 尚平
- Mの世界 横光 晃
- 魂の試される時 三田 誠広
- おれが天一坊 丹羽 文雄
- 九月の土曜日 早乙女 貢
- 井上 光晴

# みんなの保健

(決められた日時に受けられない方は)  
最寄りの会場で受けてください。

< 4 月 >							
事業	対象者	日(曜)	時刻	会場	対象地区	備考	
母子保健	三歳児検診	自49年11月生 至49年12月生	18(火)	午後1:30~3:00	福祉センター	全地区	母子手帳持参
	3カ月児検診	53年1月生	27(木)	午後1:30~3:00	福祉センター	全地区	母子手帳持参
	股関節脱きゅう検査	53年1月生	27(木)	午後2:30~3:00	泊病院	全地区	検査料 1,500円
	母親学級	妊婦全員	28(金)	午後1:00~3:00	福祉センター	全地区	母子手帳持参
食生活	キッチンカーによる 栄養実習	婦人層	24(月)	午前10:00~11:30	橋向町 大村下駄屋前	泊一区	
			24(月)	午後1:00~2:30	Aコープ前	泊二・三区	
			25(火)	午前10:00~11:30	職工会館前	泊二区	
			25(火)	午後1:00~2:30	中町常光寺前	泊一・二区	
< 5 月 >							
成人病保健	胃の集団検診	希望者	9(火)	午前9:00~11:00	福祉センター	泊一・三区	検査料 800円
			10(水)	午前9:00~11:00	福祉センター	泊二区	検査料 800円
	健康相談	希望者	12(金)	午後1:00~3:00	黒部保健所 泊支所	全地区	
保母健子	母親学級	妊婦全員	19(金)	午後1:00~3:00	福祉センター	全地区	母子手帳持参

## これからの健康づくり

### 健康増進

身体老化現象は、四十歳を過ぎると、様々な症状となつて現われてきます。

社会構造の変化が、我々の日常生活を大きく変え、疾病の要因も単一ではなく複雑なものとなつてきています。

今回は、女性の老化現象と呼ばれる「更年期障害」について述べてみましょう。

△原因▽閉経後(四十五歳前後)ホルモンと自律神経のアンバランスが原因でおこります。一般に初潮が早ければ、閉経が遅い傾向にあります。

△症状▽冷え、のぼせ、ほてり、息切れ、動悸、頭痛、めまい、不眠、腰痛、肩こり、手足のしびれ、吐きけ、食欲不振、便秘、神経過敏、疲れやすい、憂うつ、忘れっぽい等。各々の性格によつて症状の軽重に個人差がありますが、何ごとにもものんびりした人は、更年期障害の苦しみをさほど感じません。

### △四十歳からの健康法▽

#### 「八つの教訓」

- 一、太りすぎないこと、食事は、腹8分目とする。
- 二、文明の利器に頼りすぎることなく適度の運動をする。
- 三、ほほえみこそ、心身の安定剤、早寝早起きで休養をとり、いつも明るくすすす。

四、酒、煙草は控えめに。

五、心配事、イライラ、ストレスは血圧を上げるもと。

六、塩気を少なく、新鮮な野菜、果物、海藻類、植物油、乳製品を十分に取る。

七、通じを整える。便秘は肩こり、頭痛や脳出血を引きおこします。

八、一年に一回の健康診断、ガン検診、血圧測定、心電図、眼底検査、レントゲン撮影を受けましょう。

△健康の自己診断▽どんな病気で、早期発見、早期治療は早期回復のため一番大切なことです。

家庭での健康管理は、ちよつとした観察で、家族みんなで早期発見ができます。

一、顔色・いかがですか。

二、疲労感・疲れが残りませんか。

三、食欲・ごはんがおいしく食べられますか。

四、便秘・毎日便通がありますか。

五、睡眠・よくねむれますか。

六、表情・元気な時と比較してどうですか。

七、活・気力・活気がありますか。

八、体温・三六・五度前後が標準です。

九、体重の増減・家庭に一台ヘルスメーターを備えましょう。

※ 毎月第一金曜日は健康相談日です。気軽にお出かけください。

時間 午後一時から三時まで  
場所 黒部保健所泊支所  
乳児から老人に至るまでの健康管理に対する相談をうけます。